3-091-317-**01**(1)

SONY

スポーツパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、いつでも見られるところに必ず保管してください。

必ずお読みください。
- ご使用になる前に、正常に動作するか、水漏れはないかを確認してください。
- 万一、スポーツパックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（デジタルビデオカメラレコーダー、バッテリーなど）の損傷、および記録内容や撮影に要した諸費用などの補償は、ご容赦ください。
- スポーツパックおよび内部機材に対するソニー水中機材損害保険を用意しております。案内書をお読みのうえ、加入されることをおすすめします。

SPK-PC5

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐためにつぎのことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する**
- **万一異常が起きたら**

変な音やにおいがしたら、煙が出たら → ❶ **電源を切る** ❷ **テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

禁止　**行為を禁止する記号**

⚠注意　**下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。**

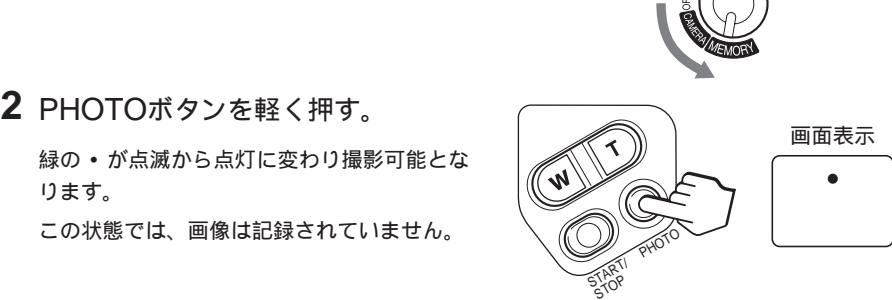
衝撃を与えない
ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。

各部のなまえ

スポーツパックを使う（つづき）

静止画を撮る

A. メモリーモードのとき

1 POWERスイッチを「MEMORY」にする。

2 PHOTOボタンを軽く押す。

緑の • が点滅から点灯に変わり撮影可能となります。

この状態では、画像は記録されていません。

3 PHOTOボタンを深く押す。

ボタンを深く押したときの画像が“ メモリースティック ”に記録されます。

ご注意
“ メモリースティック ”に対応していない機種の場合には、カメラモードになります。

B. カメラモードのとき

1 POWERスイッチを「CAMERA」にする。

2 PHOTOボタンを軽く押す。

画面の右上に「キャプチャー」という文字がでます。

この状態では、画像は記録されていません。

3 PHOTOボタンを深く押す。

画面に表示されている画像が、“ メモリースティック ”に記録されます。

ご注意
- スポーツパックを使ってナイトショット撮影をすることはできません。
- “ メモリースティック ”に対応していない機種の場合には、テープに保存されます。
- スポーツパックをご使用のときは、フラッシュ機能をお使いになれません。

4 台座と反射防止リングを取りはずす。

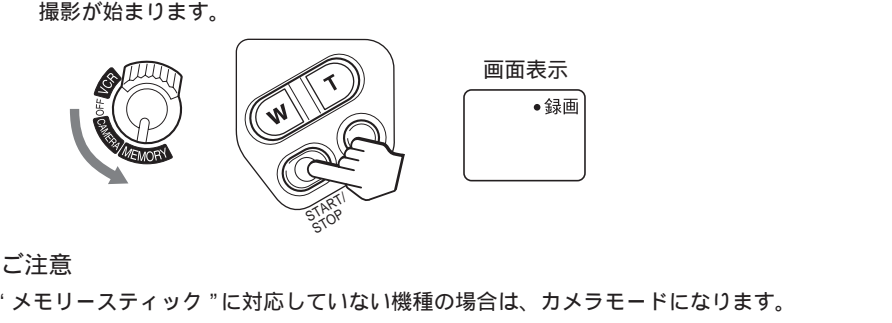
ご使用後、台座はスポーツパックに取り付けておいてください。

ご注意
- スポーツパックを開けるときは、スポーツパックと体についた水分を充分にふき取ってから開け、水滴が内部のデジタルビデオカメラレコーダーにかからないようにしてください。
- スポーツパックにサンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置すると、スポーツパック表面の変色や、ヒビなどの傷みの原因になります。
- ご使用後は、「お手入れのしかた」をご参照のうえ、お手入れ・保管をしてください。

動画を“ メモリースティック ”に撮る

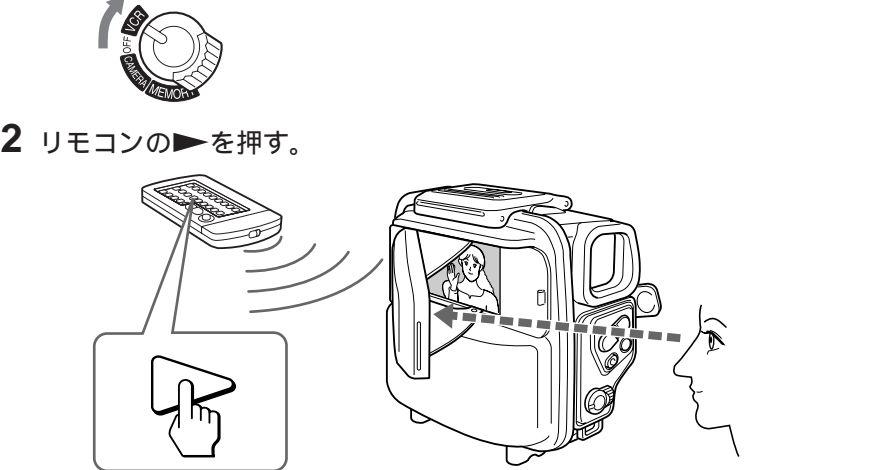
1 POWERスイッチを「MEMORY」にする。

2 START/STOPボタンを押す。

撮影が始まります。

ご注意
“ メモリースティック ”に対応していない機種の場合は、カメラモードになります。

リモコンを使って画像を見る

デジタルビデオカメラレコーダーのリモコンを使って、液晶画面で画像を見ることができます。
このとき音声は聞こえません。

1 POWERスイッチを「VCR」にする。

2 リモコンの►を押す。

その他の操作（停止、巻き戻し、早送り）もすべてリモコンで行ってください。

ご注意
ミラーの画面は左右が反転して見えます。

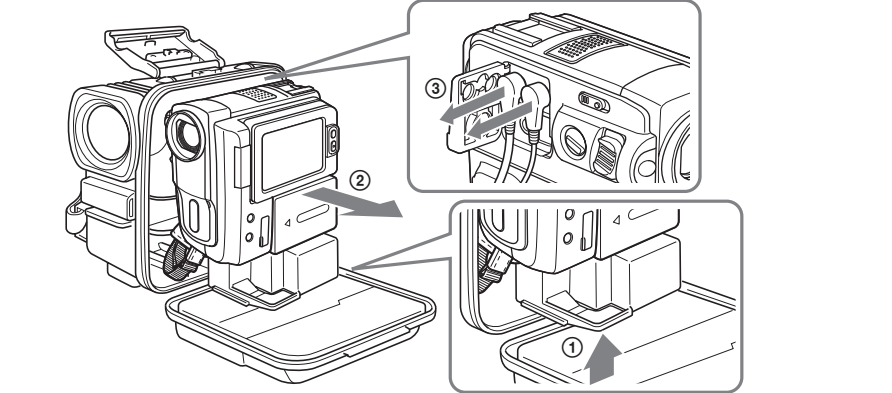
デジタルビデオカメラレコーダーを取りはずす

1 POWERスイッチを「OFF」にする。

2 ミラー側を上に向け、バックルをはずしてボディーを開ける。

ミラーを確実に閉じてから行ってください。

3 台座を引き出し、リモートプラグとマイクプラグをはずす。

① 台座の突起部を下からつまむように持ち上げてロックを解除する。
② デジタルビデオカメラレコーダー本体を持ち、スポーツパックから引き出す。
③ リモートプラグとマイクプラグをはずす。
はずしたプラグはスポーツパック内部のプラグホルダーに収納してください。

ご注意
リモートプラグ、マイクプラグは確実にはずしてください。プラグが接続されたまま台座を強く引き出すと、プラグやデジタルビデオカメラレコーダーを傷める原因になります。

主な仕様

材質
プラスチック（PC、ABS）、ガラス

防水構造
防水パッキン、バックル

耐圧
水深2mまで

外部より操作可能な動作
撮影・再生時の電源入／切、録画開始／停止、フォト操作、ズーム操作

最大外形寸法
150×170×110 mm
（幅／高さ／奥行き）

質量
約550 g（本体のみ）

付属品
ショルダーベルト（1）
台座（D, C_2, A 各1個）
三脚ネジプレート（1）
（台座Dに取り付け済み）
反射防止リング（2）
グリス（1）
くもり止めリキッド（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
水中機材用損害保険のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
“ 故障かな？と思ったら ”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社ではスポーツパックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
●型名：SPK-PC5
●故障の状態：できるだけ詳しく
●お買い上げ日

取り扱い上の注意

- 本体の前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上でのスポーツパックの開閉はできるだけ避けてください。デジタルビデオカメラレコーダーの取り付けやテープ・“ メモリースティック ”の交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- スポーツパックを水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次の場所でのご使用は避けてください。
  – 高温多湿な場所
  – 40℃を越える温水の中
  – 0℃以下の場所
  結露、水漏れ、デジタルビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。
- 周囲温度が35℃を越えるときのご使用は、連続1時間以内にしてください。
- 炎天下に長時間放置しないでください。直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけておいてください。

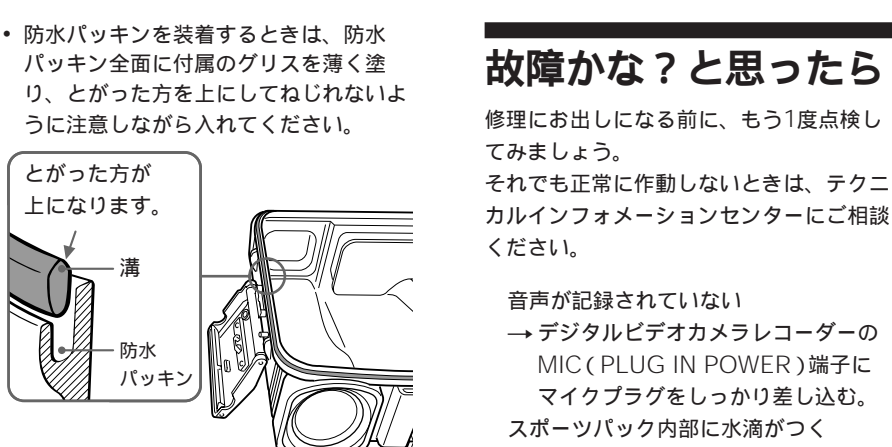
スポーツパックにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、スポーツパック表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

水漏れについて

万一内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。
デジタルビデオカメラレコーダーが濡れた場合は、至急テクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

防水パッキンについて

- **防水パッキンの傷やヒビ割れは浸水の原因になります。**
  ただちに新しいものと交換してください。防水パッキンを溝からはずすときに、とがったものや金属を使うと溝にキズをつける恐れがありますので使用しないでください。

- **防水パッキン全面に付属のグリスを指先で薄く塗ってください。**
  防水パッキンの磨耗を防ぎます。布や紙にグリスをつけて塗ると、繊維が防水パッキンに付着することがありますので使わないでください。
- **防水パッキンを装着するときは、防水パッキン全面に付属のグリスを薄く塗り、とがった方を上にしてねじれないように注意しながら入れてください。**

- 防水パッキンの寿命は使いかたによって異なりますが、防水性能を維持するため1年に1度は交換することをおすすめします。防水パッキン、グリスはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
  防水パッキン（番号　3-051-711-02）
  グリス（番号　2-115-921-01）
  交換後は、必ず水漏れの確認をしてください。

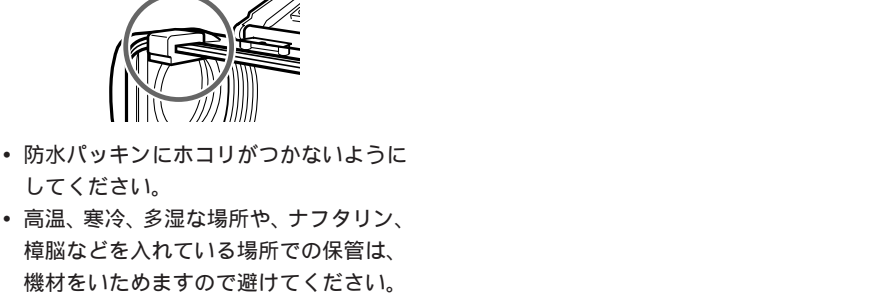
水漏れの確認方法
防水パッキン交換後は、デジタルビデオカメラレコーダーを収納する前にスポーツパックを閉じて、水中（15cm位）に約3分間沈めて水漏れがないことを確認してください。

お手入れのしかた

海でご使用した後は、必ず、バックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- スポーツパック内部は、乾いた柔らかい布でふき、水洗いはしないでください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので、使わないでください。

くもり止めリキッドについて
スポーツパック前部のガラス面に付属のくもり止めを塗布すると、くもり防止に効果があります。

- **くもり止めリキッドの使用方法**
  フロントガラス、アイカップのガラス面の内側に2〜3滴たらして、コットン、柔らかい布、ティッシュペーパー等でクリーナー液が均等に広がるように拭いてください。

保管するときは
- 防水パッキンの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。

- 防水パッキンにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材をいためますので避けてください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

□音声が記録されていない
→デジタルビデオカメラレコーダーのMIC（PLUG IN POWER）端子にマイクプラグをしっかり差し込む。

□スポーツパック内部に水滴がつく
→バックルをカチッとロックされるまで締める。
→防水パッキンを正しく装着する。
→防水パッキンに傷やヒビが入っている場合には、新しいものと交換する。

□撮影ができない
→バッテリーパックを充分に充電する。
→デジタルビデオカメラレコーダーのLANC ⓛ（リモート）端子にリモートプラグをしっかり差し込む。
→テープが終わりになっている場合、別のカセットを入れる。またはテープを巻き戻す。
→“ メモリースティック ”の残量がない場合、別の“ メモリースティック ”を入れる。または不要なデータを消す。
→カセット・“ メモリースティック ”の誤消去防止つまみ・スイッチを戻す。または別のカセット・“ メモリースティック ”を入れる。

主な特長

- 本機はソニーのデジタルビデオカメラレコーダーDCR-PC109/PC105/PC101/PC9/PC5に対応したスポーツパックです。
- お手持ちのデジタルビデオカメラレコーダーに本機を取りつけると、雨天時や海辺（水中では水深2m以内）での撮影ができます。ただし、波が高い場所でのご使用はお避けください。
- スポーツパックを使って撮影をするときには、容量の大きいバッテリーパックをご使用になることをおすすめします。ただし、NP-QM91D/QM91/FM91/FM90はお使いいただけませんのでご注意ください。

水漏れにご注意ください！
水漏れによるデジタルビデオカメラレコーダーの破損を防ぐため、以下の点にご注意ください。
- 本説明書を通読し、あらかじめ必要な確認を必ずおこなう。
- デジタルビデオカメラレコーダーを取り付けるときは、本説明書裏面の手順に従い、接続コードを適切に収納する。
- 使用前に毎回必ず、防水パッキンのはずれやはさみ込みがないか、また砂やゴミの付着がないかを確認する。上記の状態のままお使いになると水漏れが発生します。

お問い合わせ窓口のご案内

■**テクニカルインフォメーションセンター**
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。
修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話のおかけ間違いにご注意ください。
電話：　0564-62-4979
受付時間：月〜金曜日　午前9時〜午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話される際に、本機の型名（SPK-PC5）をお知らせください。
より迅速な対応が可能になります。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

eco info　この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

準備

台座の準備

お手持ちのデジタルビデオカメラレコーダーに合わせて取り付ける台座を準備します。

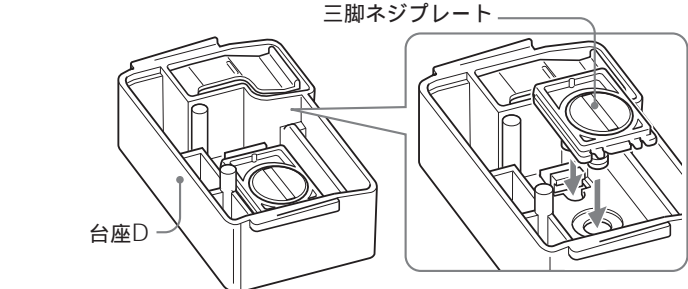
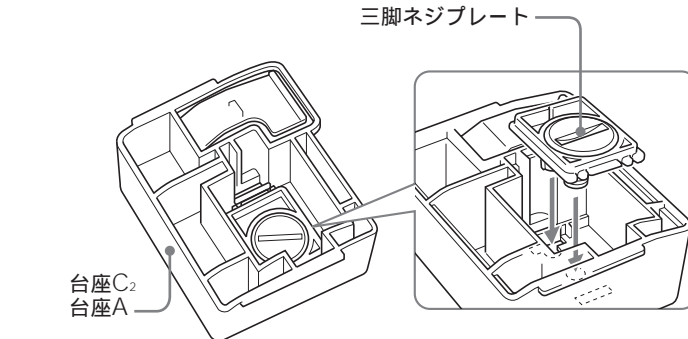
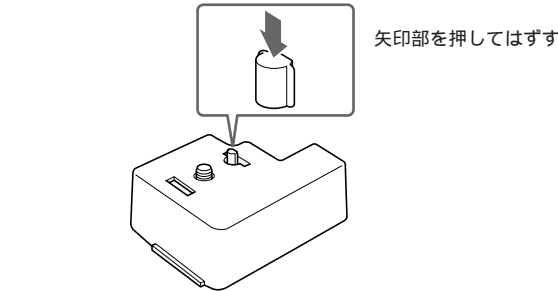
1 下の台座表で、お手持ちのデジタルビデオカメラレコーダーに合う台座（D、C_2、A）を選ぶ。

2 三脚ネジプレート（コイン大のもの）を取り付ける。

台座表

台座	デジタルビデオカメラレコーダー
D	DCR-PC109
C_2	DCR-PC105/PC101/PC9
A	DCR-PC5

台座Dと三脚ネジプレートの取り付け

お買い上げ時には、三脚ネジプレートは台座Dに取り付けてあります。

台座C_2、Aと三脚ネジプレートの取り付け

三脚ネジプレートのはずしかた

デジタルビデオカメラレコーダーの準備

デジタルビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 付属品、アクセサリー類をはずす。

ショルダーベルト、レンズキャップ、MCプロテクター、NDフィルター、コンバージョンレンズ、特殊フィルターなどを取りはずしてください。
DCR-PC109をご使用のときは、レンズシャッターを開けてください。

2 バッテリーを取り付ける。

充分に充電してあるバッテリーを取り付けてください。

3 カセットを入れる。

4 液晶画面を見ながら撮影するときは、液晶画面を外側に向けて本体に閉じる。

5 デジタルビデオカメラレコーダーの設定を自動調節にする。

詳しくは、お使いのデジタルビデオカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

6 フォーカススイッチがある場合は「自動」にする。

7 ファインダーパワーセーブ機能がある場合は「切」にする。

8 スタート／ストップモードスイッチがある場合は「⩌」にする。

9 ファインダーで撮影するときは、ファインダーを最大まで伸ばす。

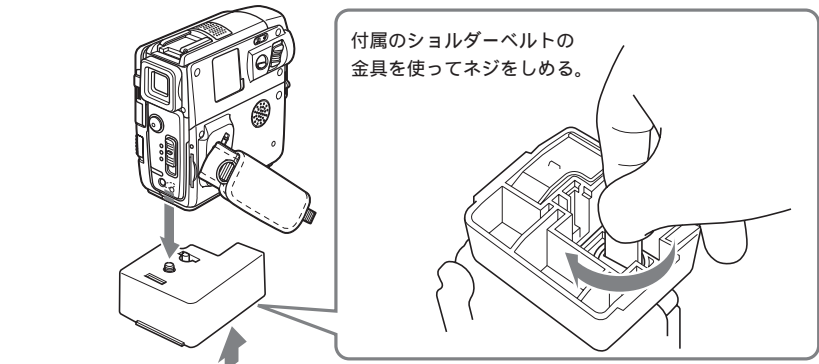
DCR-PC5ではファインダーを縮めたままにすると、液晶画面を閉じていてもファインダーに画像は映りません。

- ナイトショット機能があるデジタルビデオカメラレコーダーをお使いのときは、ナイトショットを「切」にしてください。

デジタルビデオカメラレコーダーを取り付ける

デジタルビデオカメラレコーダーの電源スイッチは切（充電）に、スポーツパックのPOWERスイッチは「OFF」にしておいてください。

1 台座に取り付ける。

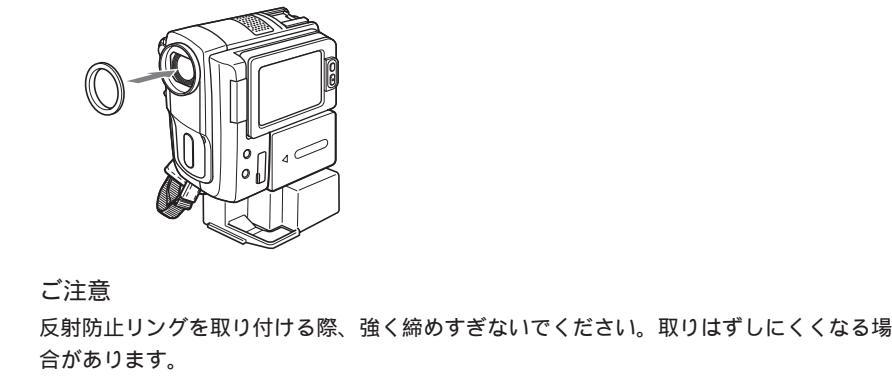
デジタルビデオカメラレコーダー底面の三脚用ネジ穴に台座のネジをあわせます。

ご注意

DCR-PC101/PC9/PC5をお使いの場合は、グリップベルトをデジタルビデオカメラレコーダーの本体にたたんで台座に取り付けてください。

2 反射防止リングを取り付ける。

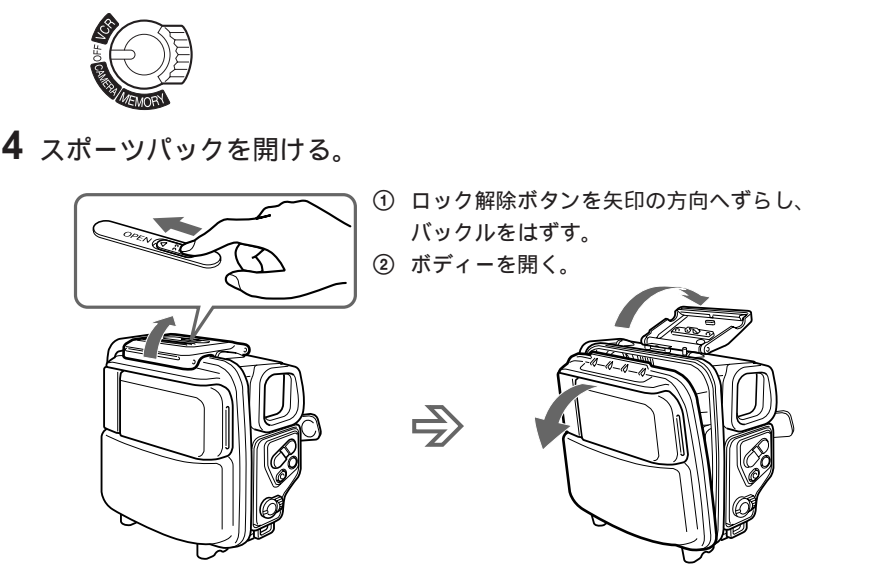
反射防止リングには、フィルター径25mm用と30mm用の2種類がありますので、お手持ちのデジタルビデオカメラレコーダーに合うほうをお使いください。
反射防止リングを装着することにより、デジタルビデオカメラレコーダーのレンズリング部が、フロントガラスへ写り込むのをある程度防ぐことができます。

ご注意

反射防止リングを取り付ける際、強く締めすぎないでください。取りはずしにくくなる場合があります。

3 スポーツパックのPOWERスイッチが「OFF」になっていることを確認する。

4 スポーツパックを開ける。

① ロック解除ボタンを矢印の方向へずらし、バックルをはずす。
② ボディーを開く。

ご注意

黒いゴムの部品はスペーサーです。スポーツパックを保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

5 スポーツパックの準備をする。

① 防水パッキンにグリスを塗る。

防水パッキン、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、防水パッキンに薄く均一にグリスを塗ります。
砂やゴミが付着したままスポーツパックを閉じると、傷が付いて浸水の原因になります。

② フロントガラスにくもり止めリキッドを塗る。

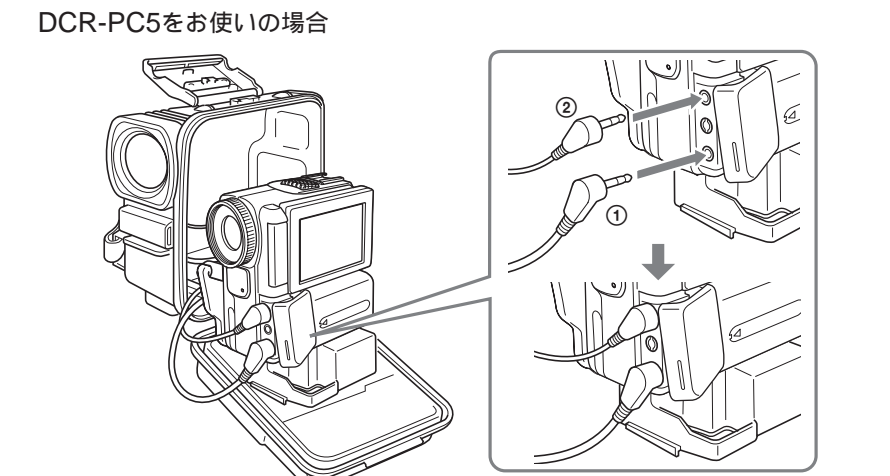
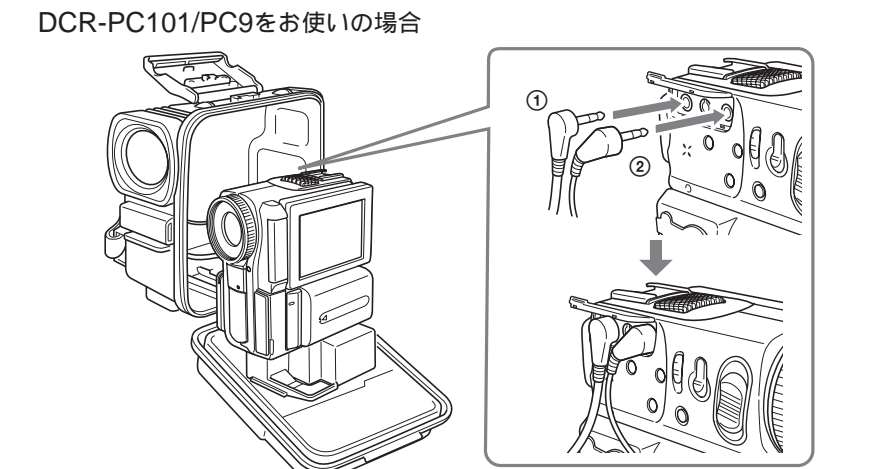
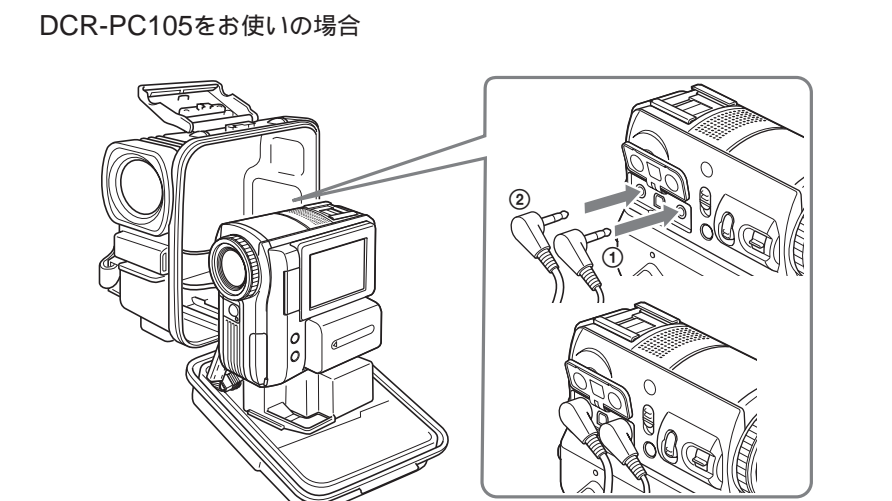
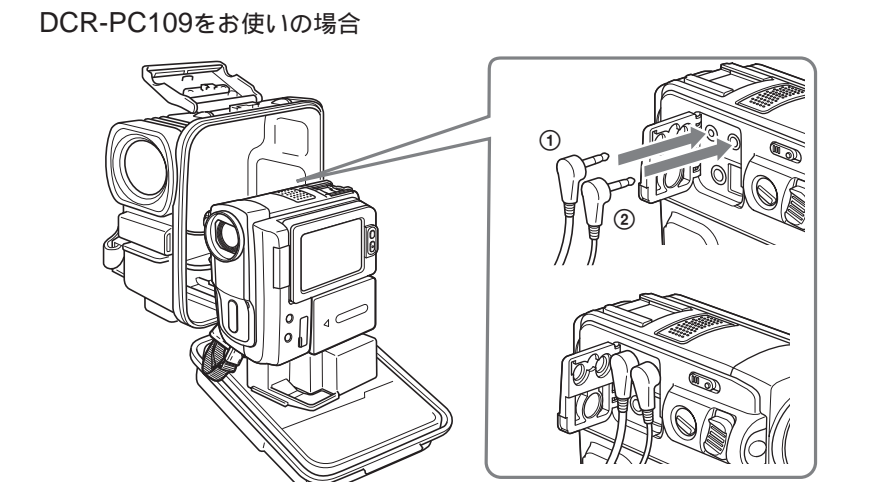
スポーツパック前部のガラス面の内側のくもり防止のため、必ず付属のくもり止めリキッドを塗布します。

6 デジタルビデオカメラレコーダーをスポーツパックに近づけて、プラグを引っぱらないように注意をしながら、リモートプラグをLANC ◖ 端子へ（①）、マイクプラグをMIC（PLUG IN POWER）端子へ（②）接続する。

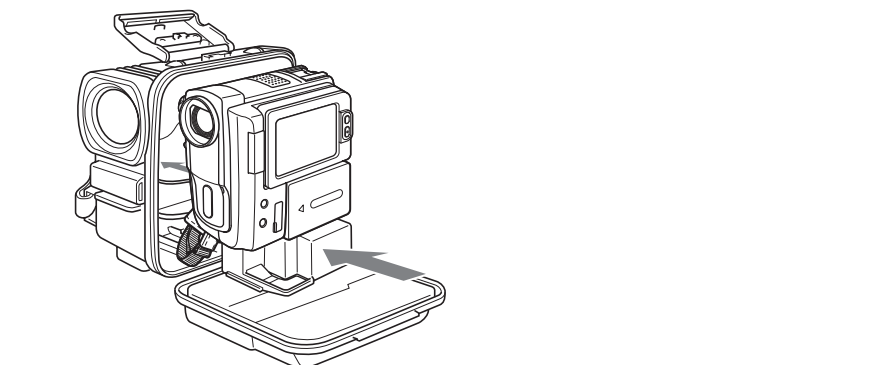
DCR-PC109をお使いの場合

DCR-PC105をお使いの場合

DCR-PC101/PC9をお使いの場合

DCR-PC5をお使いの場合

7 スポーツパックに取り付ける。

デジタルビデオカメラレコーダーのレンズや液晶画面が汚れていないことを確認してください。

台座がカチッとロックされるまで押しこみます。

8 スポーツパックを閉じて、バックルを締める。

スポーツパックをしっかり押さえ、カチッとロックされるまでバックルを締めます。

ご注意

- **スポーツパックのボディーを閉じるとき、接続コードやケーブルなどをはさみこまないようにご注意ください。故障や浸水の原因となります。**
- **デジタルビデオカメラレコーダーをスポーツパックに収納したときに、レンズの中心がスポーツパックのフロントガラス部中心に対してずれていますが、撮影などには問題ありません。**

接続コードの収納は適切に

スポーツパックのバックルがカチッと締まっても、接続コードの収納のしかたが正しくないと水漏れすることがあります。下の図を参考に、正しく収納してください。

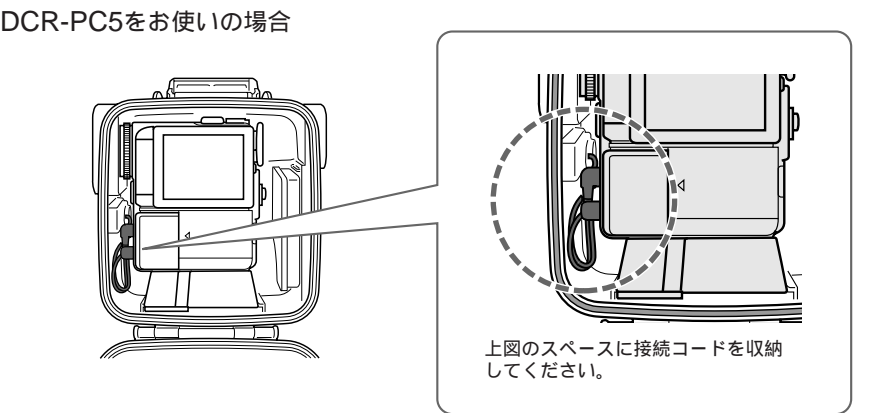
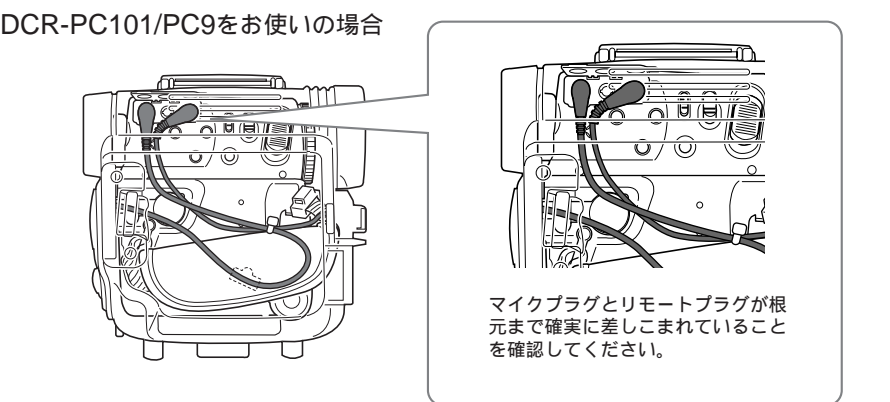
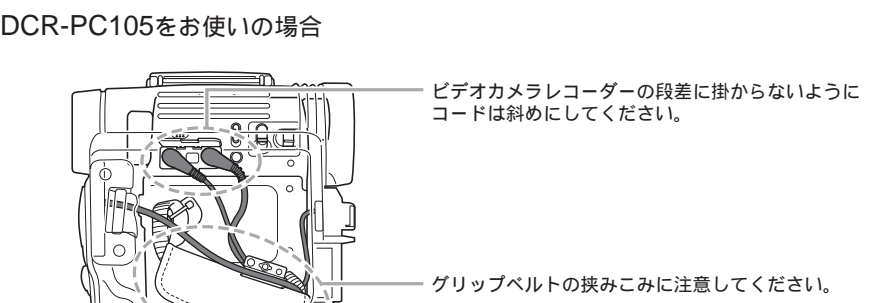
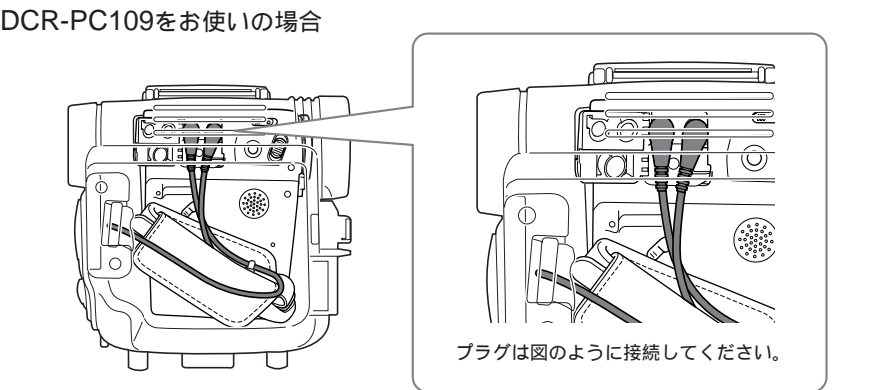
ご注意

- マイクプラグが浮いていると録音されなかったり、ノイズが入ったりする原因となります。
- リモートプラグが浮いていると誤動作の原因となります。

DCR-PC109をお使いの場合

DCR-PC105をお使いの場合

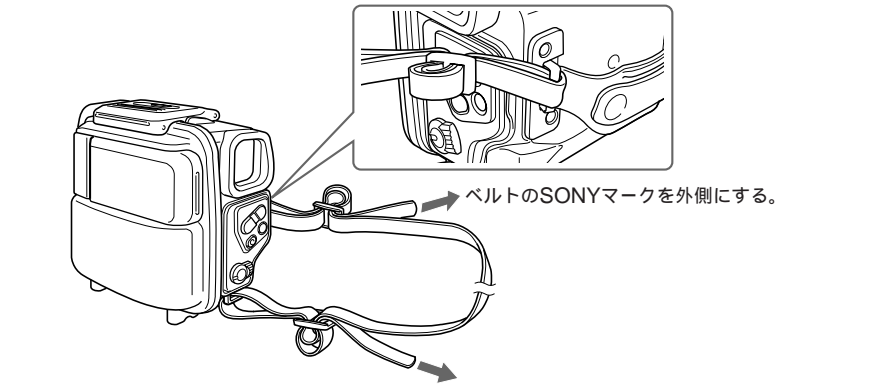
DCR-PC101/PC9をお使いの場合

DCR-PC5をお使いの場合

スポーツパックの準備

1 グリップベルトを調節する。

POWERスイッチやSTART/STOPボタン、ズームボタンを操作できるように手の位置を決め、グリップベルトを調節してください。

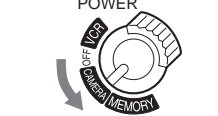
2 必要に応じてショルダーベルトを取り付ける。

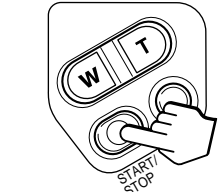
ベルトのSONYマークを外側にする。

スポーツパックを使う

撮影する

POWERスイッチはきちんとロックする位置に合わせてください。

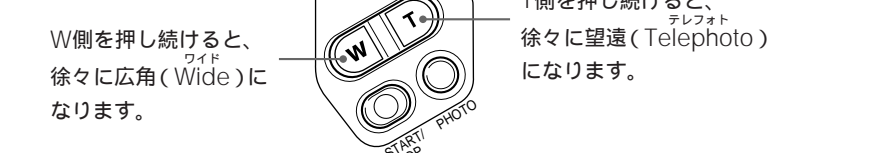
1 POWERスイッチを「CAMERA」にする。

このとき、POWERスイッチは下図のようになります。

2 START/STOPボタンを押す。

撮影が始まります。

ズームをするには

ズームボタンを押します。
ズームの速度は2段階に変化します。少し押すとゆっくりズームし、さらに押すと速くズームします。

W側を押し続けると、徐々に広角（ワイドWide）になります。

T側を押し続けると、徐々に望遠（テレフォトTelephoto）になります。

撮影を止めるには

START/STOPボタンを押します。
もう1度押すと撮影が再び始まります。

電源を切るには

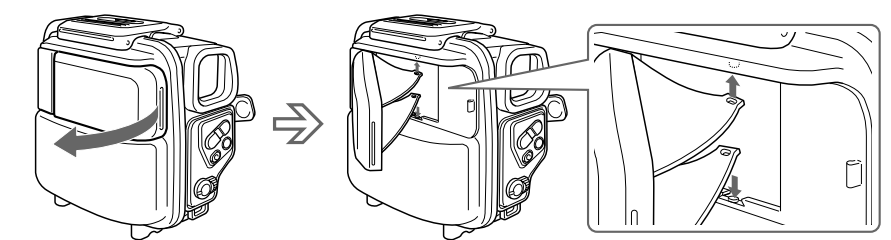
撮影を止めた状態で、POWERスイッチを「OFF」にします。

ご注意

- 撮影一時停止状態が5分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。撮影スタンバイに戻すにはPOWERスイッチをいちど「OFF」に戻してから再び「CAMERA」にします。
  （DCR-PC109をお使いの場合で自動電源オフ機能をOFFに設定しているときを除きます。詳しくはお使いのデジタルビデオカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）
- デジタルビデオカメラレコーダー側の電源スイッチに関係なく、スポーツパック側のPOWERスイッチが優先されます。

液晶画面を見ながら撮影する

ミラーに映る映像を見ながら撮影することができます。

① 開閉ミラーを開く。
② 上下の羽を広げ、突起を穴にはめこむ。

ミラーを閉じるときは

上下の羽の突起をはずし、下の羽から閉じます。

ご注意

- DCR-PC5では液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。
- 開閉ミラーを直接持って撮影しないでください。
- デジタルビデオカメラレコーダーによっては、液晶画面の一部が隠れることがあります。